

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選	授業担当者 Instructor
日本語Ⅲ(J1)	共通	1・2年生・前期	2単位	選択	古川 幸子
履修の前提条件	留学生を対象とする日本語講座です。日本語運用能力向上に意欲のある学生の受講を求めます。				
授業概要 (Course Outline)					
国を越えて共有でき、さまざまな側面を持つトピックについて、関連資料を分析したり、ディスカッションしたりしながら、内容を深めていきます。グループワークやスピーチなどを通して、自分の考えを日本語で豊かに発信できるように、授業を展開していきます。					
授業を通して修得できる力 (Competency Goals)					
知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解 Multiple Culture / Different Culture				○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature				
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル Reading / Writing / Speaking / Listening				○
	数量的スキル Mathematics				
	情報リテラシー Information Literacy				○
	論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking				○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	問題解決力 Problem Solving				○
	建学の精神 University Founding Philosophy				○
	自己管理能力 Self-management				
	チームワーク Teamwork				○
	リーダーシップ Leadership				○
	倫理観 Ethical Sense				○
	市民としての社会的責任 Social Responsibility				
	生涯学習力 Lifelong Learning				
到達目標 (Objectives)					
日本の大学で学ぶ上で必要な日本語運用能力、特に口頭発表の技術を高め、円滑なコミュニケーションができるようになることを目標とします。また、日本の文化や習慣、価値観などに対して、みんなで調べたり話し合ったりして、日本社会についてよく理解できるようになることがこの講座の目標です。					
事前学習の内容	次の学習内容の言葉調べなど、各講指示します。				
事後学習の内容	講義内容の復習、小テストのための復習など。				
能動的学習【アクティブラーニング】の内容 (Active Learning)					
各トピックに対して、資料を調べたり、ディスカッションしたりして、意見をまとめ、クラスで発表します。発表原稿を作成し、事前に必ず提出してください。					
教員との連絡方法・オフィスアワー (Office Hour)					
連絡、問い合わせの方法は、授業の1回目で教えます。					
その他 (Others)・外部試験との関連・学習の確認(ポートフォリオの作成と提出)について					
外部試験:日本語能力試験(JLPT)を受験してください。必須ではありませんが、授業で能力試験対策練習を行うので、受験を強く勧めます。今年は、第1回7月1日(申込4月末まで)第2回12月2日(申込9月末まで)です。 学習の確認:ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出して下さい。					

授業計画 (Course Schedule)			
テーマ Theme			
第1回	オリエンテーション:授業方針説明、受講上の注意、日本語力チェックテスト		
第2回	自己紹介(私の宝物)		
第3回	トピック①(旅行)導入・キーワード・ディスカッション		
第4回	トピック①関連資料(グラフ)からわかることを考える。グラフの説明の仕方を学ぶ。		
第5回	トピック①文章理解・表現の確認・自分の経験をまとめる(課題)		
第6回	トピック①発表する		
第7回	トピック②(祭り)導入・キーワード・ディスカッション		
第8回	トピック②関連資料(グラフ)からわかることを考える。		
第9回	トピック②文章理解・表現の確認・自分の国の祭りについて調べる・資料を集める(課題)		
第10回	トピック②資料を見せながら発表する1		
第11回	トピック②資料を見せながら発表する2		
第12回	トピック③(贈り物)導入・キーワード・ディスカッション		
第13回	トピック③関連資料(グラフ)からわかることを考える。		
第14回	トピック③文章理解・表現の確認・自分の経験についてまとめる(課題)		
第15回	トピック③贈り物のエピソードについて発表する。		
第16回	定期試験		
教科書 (Textbooks)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
トピックによる日本語総合練習(中級前期)	安藤節子・田口典子・佐々木薫 赤木浩文・坂本まり子	スリーエーネットワーク	978-4-88319-213-7
参考文献 (Reference Books)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
必要に応じて指示します。			
成績評価方法 (Grading Criteria / Method of Evaluation)			
平常点(授業中のパフォーマンス、態度、HW提出状況など)45%、定期試験40%、小テスト15%で、評価します。			

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選	授業担当者 Instructor
日本語Ⅲ (J2)	共通	1・2年生・前期	2単位	選択	全 彰煥
履修の前提条件	留学生を対象とする基礎日本語講座である。 主に、中級以上上級の日本語力取得を目指す。				
授業概要 (Course Outline)					
日常生活や大学生活で経験するさまざまな場面において、周囲と摩擦を起こさずに、コミュニケーションができるように、一般的によく使用されるフレーズを知り、会話のパターンを身につける練習を行っていく。 併せて、日本の習慣、文化に関して知識を得、理解を深めていく。					
授業を通して修得できる力 (Competency Goals)					
知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解 Multiple Culture / Different Culture				○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature				
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル Reading / Writing / Speaking / Listening				○
	数量的スキル Mathematics				
	情報リテラシー Information Literacy				
	論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking				
	問題解決力 Problem Solving				○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神 University Founding Philosophy				○
	自己管理能力 Self-management				
	チームワーク Teamwork				○
	リーダーシップ Leadership				
	倫理観 Ethical Sense				○
	市民としての社会的責任 Social Responsibility				○
	生涯学習力 Lifelong Learning				
到達目標 (Objectives)					
日常生活で、周囲の人とスムーズにコミュニケーションができ、お互いを尊重できる人間関係が築けるようになることが目標である。日本の文化や習慣について、知識を得、日本社会全般について理解を深めてほしい。また、日本語能力試験N3以上に合格することを期待する。					
事前学習の内容	次の学習内容の言葉調べなど、各講指示する				
事後学習の内容	講義内容の復習、復習チェックテストのための復習等をする。				
能動的学習【アクティブラーニング】の内容 (Active Learning)					
日本の文化や習慣について、自国と比較したり、意見交換したりするので、積極的な発言を期待する。また、この講座で学んだ日本語表現を必ず使ってみてその感想をクラスで発表してもらう。					
教員との連絡方法・オフィスアワー (Office Hour)					
① 連絡・問い合わせ・相談: 研究室(453)にて随時受け付ける。 ② オフィスアワー: <水>2-5限目 ③ メール: jonhan@kiis.ac.jp					
その他 (Others)・外部試験との関連・学習の確認(ポートフォリオの作成と提出)について					
外部試験: 日本語能力試験(JLPT)を受験すること。今年は、第1回7月1日(申込4月末まで)、第2回12月2日(申込9月末まで)である。 学習の確認: ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出する。					

授業計画 (Course Schedule)			
テーマ Theme			
第1回	オリエンテーション(講義内容、受講のルール、評価の方法など)、受講アンケート、日本語能力チェックテスト		
第2回	ユニット1	ひと味違う自己紹介	聴解・発表(インターネットニュース)①
第3回	ユニット2	間取りの本当の意味	聴解・発表(インターネットニュース)②
第4回	ユニット3	「買う」楽しみ	聴解・発表(インターネットニュース)③
第5回	ユニット4	不思議な習慣	聴解・発表(インターネットニュース)④
第6回	ユニット5	地球を守る	聴解・発表(インターネットニュース)⑤
第7回	ユニット6	心と体のバランス	聴解・発表(インターネットニュース)⑥
第8回	ユニット7	今どきの大学生 ①	聴解・発表(インターネットニュース)⑦
第9回		今どきの大学生 ②	聴解・発表(インターネットニュース)⑧
第10回	ユニット8	日本の会社に入るまで ①	聴解・発表(インターネットニュース)⑨
第11回		日本の会社に入るまで ②	聴解・発表(インターネットニュース)⑩
第12回	ユニット9	日本の子供たち ①	聴解・発表(インターネットニュース)⑪
第13回		日本の子供たち ②	聴解・発表(インターネットニュース)⑫
第14回	ユニット10	女と男 ①	聴解・発表(インターネットニュース)⑬
第15回		女と男 ②	聴解・発表(インターネットニュース)⑭
第16回	定期試験		
教科書 (Textbooks)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
中級から上級への日本語	鎌田 修 相元 総子	The Japan Times	4-7890-0918-1
参考文献 (Reference Books)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
必要に応じて指示する。			
成績評価方法 (Grading Criteria / Method of Evaluation)			
① 定期試験 ⇒ 50%、課題/1:1チーム発表 ⇒ 30%、平常点 ⇒ 20%			
② 平常点は、「外部試験」、「ポートフォリオ:科目別履修確認チェック表」の評価を含む。			